

低肥料成分の土づくりには 稲ワラと発酵鶏フンの同時スキ込み

■ 稲ワラ+発酵鶏フンの効果

- 稲ワラで畑に十分な有機物を補給し、発酵鶏フンで稲わらの腐熟に必要な栄養を加えることで、低成分の良質堆肥と同等の効果。
- 特に施設栽培での塩類集積の予防、または過剰障害を低減する効果が期待できます。

■ こんな場合、お勧め

- 低肥料成分の良質な堆肥が入手できない。
- 土壌診断の結果で、リン酸やカリが過剰に蓄積している。
- 緑肥の栽培ができなかった。

■ 稲ワラ(カットワラ)のスキ込み方法

○ 使用量

日頃、300坪あたり**堆肥2トン**を使用している場合

事例① カットワラ **30個** + 発酵鶏フン**10袋**を同時にスキ込み

事例② カットワラ **15個** + 堆肥 **1トン** //

※カットワラ1袋で、堆肥(30ℓ) 5~6袋に相当します。

○ スキ込みは、定植(種まき)の1ヶ月前~2ヶ月前に行う。

○ 注意点、ポイント

スキ込み時は浅く(15cm程度)耕耘する。

スキ込み後の腐熟期間中は、土に適度に水分があること。

スキ込み後、ガス抜きを兼ねて1~2回耕耘する。

